

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20UG
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: アグリ・バイオ
研究開発課題名	: ビフィズス菌を特異的に増殖促進させる新規プレバイオティクスの効率 生産法の開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 山口 真範(和歌山大学)

評価結果の総合所見

本課題は、ビフィズス菌を特異的に増殖促進するガラクト-N-ビオース(GNB)を新規プレバイオティクスとして利用するため、実用化に向けた大量合成方法の確立と GNB の機能検証を目指すものである。

目標を達成し、企業との共同研究計画も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。

GNB の大量生産技術開発に成功するとともに、GNB によるビフィズス菌生育促進の効果や、乳酸菌の腸内定着促進などの機能を明らかにしており、機能性食品素材等への波及効果が期待される研究内容として高く評価できる。

以上